



# 四 気 折 々

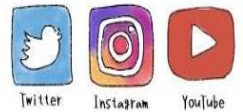
川越町立川越中学校  
「学校だより」  
48号 令和5年2月15日  
SNSの危険性「いま、どんな問題が起きているのか」

四気 = 川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」  
学校教育目標 『自立した生徒の育成 -自律・調和・創造-』のもと  
・自分を大切に  
・他人を大切に  
・人を大切に  
・粘り強くやり切る  
・安全で安心できる  
・地域や保護者ととも  
生徒  
学校  
づくりを目指します

【いま、川越中で、SNSを利用したどんな問題が起きているのか?!】  
【何が、問題なのか?!この内容は“他人事”?“自分事”?】  
いま、みんなに考えてほしい。川越中学校の生徒が関係するSNSでの大きな問題点。  
『人ごとではなく、自分への振り返りと気づきを含めて、今の自分はどうか?!』

## SNSでの使用について「危機感を持ってほしい内容」だからこそ… そして、「誰かを傷つけないために」みなさんができることは何?!。

インターネットやスマートフォンは安全に正しく使うことができればとても役立つ便利なものですが、トラブルや事件、犯罪に巻き込まれるきっかけになったり、誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう:根拠のない悪口を言いふらすなど、他人を傷つける行為) やいじめへとつながる内容も発生したり、悲しくてつらい事例や内容が拡散しすぎて炎上するような事例もあります。また、被害を受けることだけではなく、相手を傷つける加害者にもなってしまうケースも生じています。



次に記す内容は、実際に川越中学校の生徒間で起こった SNS での大きな問題です。このように、川越中学校での問題をみなさんに伝えるのは、『人ごとではなく、自分への振り返りと気づきを含めて、今の自分はどうか?!』『どうすれば、このような問題に気づいていくのか、このような問題に対して危機意識を持ってもらえるのか』を考えてほしい。

## 【SNSの危険！～川越中学校の生徒が関係するSNSでの問題点～】

### ①「Instagram(インスタグラム)のストーリーズに、川越中学校の生徒20名を超える人の写真が投稿されていました。」

ある動画がInstagramのストーリーズに投稿されていました。100名を超える仲間に向けて発信されたものです。



その動画の内容を見て、「これ、大丈夫?」という心配な気持ちになった方から学校に連絡をいただきました。学校で確認してみると、その動画には川越中学校の生徒20名を超える人たちの写真が映っていました。また、「学校名・全身写真(中には顔が認識できるもの)・フルネームでの個人名・あだ名のようなもの」が投稿されていました。内容は『個人が名前とともに特定される可能性のある個人情報が流されていました』。このInstagramへの作成にかかわったのは複数名の生徒でした。作成した自分たちの写真はもちろんのこと、自分たち以外にも何人も生徒の写真と個人名が投稿されていました。確認をすると、写真と個人名を許可なく使用していたこともわかってきました。さらに、投稿内容には、身体的特徴を指すような悪口につながる言葉も使われていました。



該当する生徒に、『何がダメであったのか、この内容を作成し投稿したその判断がどうだった』を話しをしました。そして、内容について十分に理解をし、反省してもらいました。

話をし始めたときは、先生たちが考えているよりも危機感や問題意識は低く、『何がダメなんだろう?みんな似たようなことをしてるし…。』という返事でした。

それだけ、スマホで写真を撮ってSNSに投稿をする行為は、日常化してきている。SNSを利用していく中で、『何が正しくて、何が間違った行為なのか』という正しい判断をすることが難しくなっているようです。

繰り返し、SNSの使用について、その危険性について考え、自分自身の日常を振り返る、見つめなおすことができるようにするために……。

## ② 具体的に何が問題なのか？投稿した判断がどうだったのか？

<p>(1)人の写真や個人名、場所が特定されるような動画など、いかなる場合でも、許可なく、自分勝手に個人情報 は投稿しないこと。不特定多数の人が見る可能性のある場合は、個人情報が流出され、位置情報等で住んで いる場所が特定されるなどの危険性が潜んでいます。「鍵つきだから安心、大丈夫」 「仲の良い友達だから」「グループは30人だけだから」「ストーリー」は24時 間で消えるからという考えでの情報発信は危険なリスクをとまいません。(投稿され た動画、写真は多くの人が見れば見るほど「拡散能力が高く、個人情報が流出するス ピードは驚くほど速い」ため、知らない間に炎上するようなことが多々あります)</p>	
<p>(2)他人が投稿したものを興味半分や、おもしろがって不特定多数の人たちに流出させ る行為は「違法行為」です。もちろん勝手に個人画像や個人名を投稿することも「犯罪 です」。相手から、「損害賠償」を請求されることもあります。一度拡散してしまった ものをすべて削除したり、拡散を止めることはできません。</p>	

## ③ 流行する『Instagram(インスタグラム)、Twitter(ツイッター)の炎上やトラブル』

【炎上(えんじょう)とは・・・】インターネット上のコメント欄などにおいて、投稿した  
写真や動画等の内容について、一方的に投稿した人について批判や誹謗中傷などを含む投稿が  
集中することをいう。炎上による損害は、心理的、経済的なものが発生する危険性が高い。

**24時間で自動消滅するという気軽さに原因がある。「フォロー数が少ないから、  
どうせ見せるのは仲間内。すぐに消えるという油断が大きなトラブルに巻き込まれ  
る。そんなトラブル事例がいっぱい！命にかかわる問題も発生してる世の中。**

10代のインスタグラム  
やツイッターは仲間同士のコミュニケーションツールになっています。中でも、インスタグラムは仲が良い人たち  
とつながるための場でもあります。だからこそ、仲間だけの写真などの投稿が多くなりがちです。インスタグラ  
ムでの「ストーリー」では、「投稿後、24時間で消える」ために、「今ここにいます！」という内容や、  
「今日はこんなメンバーで遊んでいます！」という軽い気持ちでの写真・動画投稿が多い。だからこそ、**悪口な  
ど人としてのマナーやモラルにかけた動画や写真を投稿して楽しんだり、いじめにつながることもあ  
り、内容の拡散により炎上となって取り返しがつかないような問題に発展することも多くあります。**



<p>【写真や動画を投稿する側：今回の問題点と同じ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■おもしろい投稿をして目立ちたい。</li> <li>■自分の友だちしか見ていないから大丈夫だろう。</li> <li>■一人では投稿するのに抵抗があるが、仲間と一緒になら・・・つい気持ちが大きくなって。</li> <li>■この写真なら、友だちの名前なら大丈夫と思って投稿した。明日のみんなの反応が楽しみ！</li> </ul>	<p>【炎上させる側：ネットの中を荒らして一つのターゲットを見つけて追い込む。いじめなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■こんなことをして絶対に許さない</li> <li>■調子に乗っているから、痛い目にあわせてやれ！</li> <li>■この内容で盛り上がっているから一緒に便乗(びんじょう)しよう</li> <li>■悪口を書かれたから絶対許さん。明日仲間外れにする</li> </ul>
---	---



## 炎上することで、一生ネットに個人情報が残ってしまう危険がいっぱい！

インスタグラムやツイッター等に投稿する際に、「これって大丈夫かな？」と考えられなかったので炎上の原因や、  
悪口を投稿された相手から損害賠償(精神的な被害を受けた、名誉を棄損された、人権を損なわれたなどの弁済を高  
額な金銭等で要求されること)を求められたり、裁判として訴えられることもあります。そして、その投稿された内  
容を不快と思った人たちから批判的にされてしまいます。炎上の元となった投稿や顔写真、個人名など  
の個人情報がネット上に拡散されてしまいます。また、投稿した内容だけでなく、過去に別のサイトに載  
せてしまった写真や家族、住所などの個人情報を検索され、大きなトラブルにつながる恐れもあります。  
一度拡散してしまったものをすべて削除するのは難しい。「24時間で消えるから大丈夫！は通用し  
ない」のです。

いまま求め  
られるのは、自分が行う行為が正しいのか、間違っているのかを冷静に判断する力である。  
自分や自分たちの日常を振り返る、見つめなおすことから。投稿したりする内容が誰かを傷つけるこ  
とになっていないか。発信する情報や内容がデマやうわさであった場合の責任は重大であることを認  
識しよう！そして、SNSでのトラブルに巻き込まれた、嫌な思いをしたなどがあった場合は、おうち  
の方、担任の先生や学年の年生に相談をしてね！



